

組 番 氏名

誰を戒めてい
のかで、性格と柄
のヒートになりますね

仁和寺
失敗しないように
戒めている



「徒然草」を書いた兼好法師は、おくびょう者。好期心おうせい。子供らしい
様々な出来事から、人や物を批評したり自分への
理想像について語っているため、文学のなかで自分への
生まやすい世界をつくっているのではないか。

高名の木のぼり
油断をしない
ゴールが近くても簡単でも

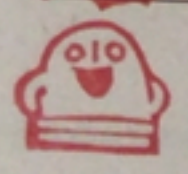
世捨て人にとて
の嫌な察して
どういふこと
でしょうね。

友
自分がいやな思いを
したくない。楽しみたい

他のエピソード
からも↑につな
げていきますか？

神無月のころ
勝手に人の家にいぢるもん
自分のことを棚に上げて批評

めっちゃ
ええやん!



興味深い考えでした。目から鱗。
よく批評に気が付けたよと思って
感心しています。